

介護保険認定(更新)の訪問調査に向けての準備

1. 介護保険認定(更新)の訪問調査とは

介護保険認定(更新)の訪問調査とは、市区町村に要介護認定(更新)を申請した際、訪問調査員（認定調査員）が自宅などを訪ねて、要介護者の心身の状態についての聞き取り調査を行うことです。

この認定調査は、麻痺の有無、立ち上がり・歩行状態などの身体機能、トイレ・着替えなどの生活機能など 6 項目 50 問以上の質問で構成されています。

訪問調査の時間は、30 分から 1 時間程度で、実際の状態を的確に伝えるためには、質問の内容を確認して、回答を準備しておくことが重要です。

介護保険認定(更新)調査の質問内容は、この QR コード(厚生労働省のホームページ)からダウンロードできます。



2. 介護保険認定(更新)の訪問調査に向けての準備

①可能であれば家族が同席する

介護保険の認定(更新)を受けるご本人は、『他人によく見られたい』、『できないと思われたくない』などという意識が働き、普段できないことでも『できる』と答えてしまうことが多いようです。

普段の状態を的確に伝えるためにも、可能であればご家族が同席することが望ましいと思います。ご家族が同席することによって、認知面の低下なども調査員の方が把握しやすいです。

また、本人の感じていることだけでなく、家族の目線からの悩みごとや心配ごとを話しておく、より正確な判定に役立ちます。

② 普段のありのままの生活を見もらう

訪問調査員の方が来る前に、ご家族が家の掃除や寝室を整える方が多いですが、これは、実際の状態を適切に評価してもらうには逆効果です。

介護保険の認定(更新)を受けるご本人が、『できない』部分を説明するためにも、普段のありのままの生活を見もらうようにしましょう。

③ 質問に対しての回答を準備する

時間帯やその日の体調によっても、歩行状態や生活機能は変化します。よって、そのような点も含めて、回答を準備するといと思います。

